財團法人 協調會福岡出張所

此の不足金額は左表の通り大正十一年度には四百十九萬七千百六十一圓二十九錢であつたが、利廻の好轉により遂次その不足額が減少し昭和四年度に於て二百八十一萬三千百七圓九十九錢となつてゐるが、昭和五年度より脫退年金の給付額三箇月分より四箇月分に增額したるものと逐年金利低下に影響され（現在にては四分）再び不足額の度を加へ昭和十年度に於て前掲の如く約三百九十九萬圓となつたのである。

○責任準備金還想額及組合財產額

| 年度別 | 還想額 | 財產額 | 不足額 |
|---|---|---|---|
| 大正十一年 | 圓 | 圓 | 圓 |
| 〃 十二年 | | | |
| 〃 十三年 | | | |
| 〃 十四年 | | | |



財團法人 協調會福岡出張所

| 昭和元年 | | | |
|---|---|---|---|
| 〃 二年 | | | |
| 〃 三年 | | | |
| 〃 四年 | | | |
| 〃 五年 | | | |
| 〃 六年 | | | |
| 〃 七年 | | | |
| 〃 八年 | | | |
| 〃 九年 | | | |
| 〃 十年 | | | |

かゝる不足金の增加は將來に於ける準備金の基礎を危くするものであり且つ本年より施行されたる退職積立金及退職手當法此本組合にて代行する事になれば益々組合の基礎を完備す